

研究分野		授業科目名				科目責任者	
生理系分野		周術期管理・侵襲防御医学特論Ⅰ・Ⅲ				佐藤 健治	
開講年次		共通／専攻／選択		単位数			
1,2,3,4		特論Ⅰ：必須専攻, 特論Ⅲ：選択		特論Ⅰ：4(2/年), 特論Ⅲ：1/年			
目的							
(1) 麻酔科学研究の意義を理解するために、経験した症例を元に手術・感染などの侵襲による生体反応のメカニズムに対する最新の知見を修得する。 (2) 薬物など医療の生体への影響を理解するために、これまで行ってきた治療の問題点を討論することにより、標準および最新の治療に関する知見を修得する。							
授業到達目標							
(1) 症例の経過を正確に説明できる。 (2) 論文をもとに症例の問題点を指摘できる。 (3) 研究に関連する論文を理解し、研究の問題点を説明できる。							
授業計画							
回数	月日	曜日	時間	担当者	区分1	区分2	授業内容
1	毎週	月	8:00-8:30	佐藤 健治 前島亨一郎	講義	[抄読会・ 症例検討会]	症例から問題点を抽出し、麻酔科学、集中治療医学に関する文献・書籍を引用して討論する。 [場所:西館棟5階第4カンファレンス室]
2	毎月	第3水	17:30-19:00	大橋 一郎 日根野谷一	講義	[研究検討会]	研究のPDCAサイクルカンファレンス [場所:総合医療センター]
3	毎週	金	8:00-8:30	佐藤 健治 前島 亨一郎	講義	[抄読会・ 症例検討会]	研究の進捗状況を確認し、文献・書籍を引用して討論する。 [場所:西館棟5階第4カンファレンス室]
4	毎月 2回	不定期	8:10-8:30	大橋 一郎 林 真雄	演習	[症例検討会]	循環不全・呼吸不全の病態理解と治療 [場所:総合医療センター]
5	毎月 2回	不定期	8:10-8:30	大橋 一郎 日根野谷一	講義	[症例検討会]	肝不全・腎不全の病態理解と治療 [場所:総合医療センター]
評価方法							
<b>【特論Ⅰ】</b> (1) 1年間※で、講義は30時間出席し、科目責任者から履修手帳に出席印をもらい、提出する。 (2) 1年間※で、論文紹介または症例発表を2回行い、その要約2編を提出する。 <b>【特論Ⅲ】</b> (1) 1年間※で、講義は15時間出席し、科目責任者から履修手帳に出席印をもらい、提出する。 (2) 1年間※で、論文紹介または症例発表を2回行い、その要約2編を提出する。 ただし、特論Ⅰ・Ⅱで紹介したものと異なる論文(症例)であること。 特論ⅠとⅢの同年度での重複受講は不可とする。 ※1～3年生は2月末まで、4年生は11月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。33頁：単位履修方法参照。							
課題(レポート等)に対するフィードバック							
(1) 紹介論文の要約について討論する。 (2) 研究結果と関連論文の要約を基に、研究方法・展開について討論する。 (3) レポートをもとに指導教員と大学院生がディスカッションを行い、双方の十分な理解に基づいたレポート内容の改善を行う。							
教科書							
ISBN-9780323760652, Miller's anesthesia, editor-in-chief, Michael A. Gropper ; honorary editor, Ronald D. Miller ; co-editors, Neal H. Cohen ... [et al.], Elsevier, 2020 ISBN-9784883788903, 集中治療専門医テキスト(電子版), 日本集中治療医学会(発行), 2015							
参考書							
ISBN-9781496349033, Management of Pain (5th Edition) , Ballantyne JC, et al., Wolters Kluwer, 2019							
準備学習(予習・復習等)							
(1) 講義ごとに紹介する文献・論文を次回講義までに読んでおく。 (2) 事前に教科書や参考書で約1時間程度、該当箇所を予習しておく。 (3) 紹介された論文の要約を作成する。							
修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連							
課題を探究し、仮説立脚、検証に至るまでの科学的・方法的・思考法を究める。							
注意事項・メッセージ							
代表的な基礎論文および臨床的論文を読む習慣をつけてください。							